

事業者向け 児童発達支援

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	②	職員の配置数は適切であるか	○			
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			・あえてバリアフリーにはせず、一般社会に適應できるように配慮している。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			・コミュニケーションツールを活用しすべての職員が発言し、聞くことが出来るようにしている。 ・職員全員(パート含む)がモニタリング等に参加できるようにコミュニケーションツールを取り入れている。
	⑤	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			
	⑥	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		第三者評価を行っていない。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			・随時個人面談や資格取得の情報を提供し、保育士資格取得制度を使い全職員の保育士資格取得を目指している。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			・より、分析を行い各児童にあった計画を立てていきたい。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			
	⑪	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容がせっていされているか	○			
	⑫	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			・子どもたちの様子や課題から支援を行えている。
	⑬	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			
	⑭	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			・毎日違う活動を行っている。 ・季節に合わせたものや、イベントなどを計画し楽しく療育を行えるように工夫している。
	⑮	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○			
	⑯	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			・行うようにしているが、時間が短いことがある。 ・営業時間内で打ち合わせを行いたい。できる人が先頭になり行っている。
	⑰	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	○			・直接会っての話合いはなかなかできないため、コミュニケーションツールを使って話し合いたい。
	⑱	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			・複数の目で見て記録している。
	⑲	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			

関係機関や保護者との連携	⑳	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		
	㉑	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等の在宅支援のために、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○		
	㉒	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○		
	㉓	保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		・幼稚園や保育所などと情報共有を行い、一緒に支援出来るようにしている。
	㉔	小学校や特別支援学校（小学部）との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		
	㉕	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修をうけているか	○		
	㉖	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		・利用児の半数以上が保育所等との併用利用を行っている。
	㉗	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○		
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		・連絡帳だけでなく、希望があった際には随時面談を行い直接話をしている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレントトレーニング等）の支援を行っているか	○		・随時個人面談を受け付けている。
保護者への説明責任等	㉚	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		
	㉛	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		
	㉜	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		
	㉝	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		・保護者同士の交流の機会を企画している。
	㉞	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		
	㉟	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		
	㊱	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		
	㊲	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		
	㊳	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		・感染が落ち着いたら計画している。 ・ハロウィンには君津市役所にお菓子配りを行っている。子どもたちもニコニコと楽しく参加出来たたくさんの方と交流できるイベントになっている。
	㊴	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		・手指消毒、マスク、検温の徹底で未然に防げるものは周知している。
	㊵	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っているか	○		・年間計画を立て、毎月避難訓練を行うようにしている。 ・地震を想定した訓練では体の守り方、避難場所、まで子どもたちも上手に歩くことが出来ていた。

非常時の対応	④②	事前に、予防接種やてんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	○			
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			・コミュニケーションツールを使い職員間での周知、危機意識の共有が出来ている。
	④⑤	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			
	④⑥	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○			